

重点化プロに74件 海外は中南米を開拓

ACKグループ

ACKグループは、2016年9月期の重点化プロジェクトの実施方針を明らかにした。74件以上を計画しており、うち10件をCSR（企業の社会的責任）版重点化プロジェクトとして実施する。投資額は年間約5億円を見込む。重点化プロジェクトの内訳は、インフラ保全・運営管理が14件、防災が11件、交通

5億円と前期を下回る見通しを立てており、全体では450億円を目標としている。

野崎秀則社長は27日に開いた15年9月期決算説明会で、海外事業の拡大に向け、地域別にはアフリカを伸ばし、中南米を開拓していく方針を示した。分野別では交通インフラの計画・マスタープランなど川上段階の事業の獲得していく考えだ。また、「体制が重要なテーマになる。現地法人を拡張していくことが1つ。さらにM&A（企業の合併・買収）を含めて、仲間をどのように募っていくかというところが重要になる」との認識を示した。

（高度化・総合化）、再生可能エネルギー・スマートコミュニティが各9件、事業経営が8件など。15年9月期の重点化プロジェクトは63件だった。

一方、海外受注高は15年9月期が14年9月期比34・5%増の167億5900万円で、地域別ではインド、ミャンマー、アフリカ、分野別では道路が好調だった。16年9月期の目標値は、15年9月期が好調だったことから、14